

PRESS RELEASE

累計6.5万人動員！関西最大級の肉フェス
『JAPAN BEEF FESTIVAL』第3回開催決定！

和牛無料試食・骨付きサーロインBBQ・志方牛料理コンテスト——肉のまち加古川でしか味わえない特別企画が集結

兵庫県加古川市の“肉のまち”としての魅力を発信するフードフェス「JAPAN BEEF FESTIVAL」(<https://japanbeeffes.jp/>)が、今年も加古川河川敷公園にて開催されます。加古川食肉センター150周年を契機に2023年から始まった本イベントは、これまでに累計6.5万人が来場し、関西でも最大級の肉イベントへと成長しました。会場では、肉のプロが手掛ける自慢の肉料理や、お肉に合うドリンク・デザートなどのブース出展をはじめ、毎年大好評の模擬せり体験、さらにダンスや歌のステージイベントも実施。家族で一日楽しめるコンテンツが充実しています。第3回となる今回は、前夜祭と本祭の2部構成で開催。前夜祭では炎と香りが魅せるライブ感あふれるBBQ、本祭では学びと試食が融合した「和牛体験」を用意し、肉のまち加古川だからこそ実現できる特別企画を展開します。



◆ 1日目：前夜祭 9/13(土)16:00-21:00

ライトアップされた河川敷で楽しむ特別な夜。黒毛和牛「骨付きサーロイン」を肉職人が直火で豪快に焼き上げるライブBBQパフォーマンスを実施します。炎が立ちのぼり、滴る肉汁や香ばしい香りに包まれる臨場感は圧巻。神戸ビーフやブランド牛を使用したメニューも登場し、一夜限りの“肉の祝祭”が広がります。さらに、新企画「SHIKATAGYU AWARD」では、地元ブランド牛「志方牛」を使った肉料理を来場者が試食・投票できる参加型企画を実施します。

◆ 2日目：本祭 9/14(日)10:00-16:00

農畜産業振興機構補助事業「SHIKATA WAGYU METHOD - premium wagyu expo」を開催。加古川の精肉文化や和牛の魅力を展示で紹介し、加古川和牛の無料試食を提供します。また「SHIKATAGYU AWARD」表彰式を行い、来場者投票と特別審査員の評価で“NO.1メニュー”を決定。「加古川市長賞」「東播磨県民局長賞」など各賞を授与し、志方牛の新たな魅力を発信します。

開催概要

- 名称 JAPAN BEEF FESTIVAL in Kakogawa
- 日時 2025年9月13日（土）16:00～21:00 ・2025年9月14日（日）10:00～16:00
- 会場 加古川河川敷 どうぶつの森広場
- アクセス JR加古川駅より徒歩約10分
- 来場者数 3万人
- 料金 入場料無料 ※飲食代別途
- 主催 肉のまちづくり推進協議会
- 協働 加古川市
- 共催 加古川中央畜産荷受株式会社
- 後援 近畿農政局/兵庫県東播磨県民局/加古川市/加古川食肉公社/加古川食肉産業協同組合/加古川油脂組合/兵庫食肉買参協同組合/加古川和牛流通推進協議会/加古川商工会議所/加古川観光協会/兵庫県食肉事業協同組合連合会/但陽信用金庫
- HP：<https://japanbeeffes.jp/>

加古川市かわまちづくりプロジェクトについて

JAPAN BEEF FESTIVAL in Kakogawaは、官民一体で加古川河川敷の魅力創出に取り組む「加古川市協働のまちづくり推進事業補助金」採択事業です。また、国土交通省が推進する「ミズベリング」の一環としても位置づけられ、水辺空間の新たな価値を創造する場として展開しています。

肉のまちづくり推進協議会について

肉のまち・加古川の価値を発信するため、精肉店・生産者・飲食店・業界団体・行政などと連携して活動しています。本イベント「JAPAN BEEF FESTIVAL」の他、2024年には「世界最大の生肉ケーキ」でギネス世界記録™を達成。2025年4月からは加古川食肉市場見学や神戸ビーフランチを楽しむ観光プログラムを開始し、5月には大阪・関西万博「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025」に出展いたしました。志方和牛をはじめ、加古川の食肉文化を次世代へ継承していきます。

JAPAN BEEF FESTIVAL
 **KAKOGAWA**



報道関係の方からのお問い合わせ先

肉のまちづくり推進協議会

広報担当：小林・橋本

☎ 電話番号：079-452-4160

☎ FAX：079-452-4177

✉ メールアドレス：info@japanbeeffes.jp